しまね旅たび

世界遺産　石見銀山遺跡コース

9:00　　10:30　　11:30　　14:30

松江市内・玉造温泉各旅館・ホテル　→　JR出雲市駅　→　石見銀山遺跡　→

15:30頃　　16:00頃　　16:30頃　　16:45頃

JR出雲市駅　→　出雲空港　→　玉造温泉　→　JR松江駅

旅行代金	大人お一人様　7，000円　小児お一人様3，500円
乗車場所	松江市内・玉造温泉各旅館・ホテル
乗車時刻	9:00
最少催行人員	2名（他のお客様と混乗になります）
運行	タクシーまたはジャンボタクシー
その他	※各施設の入館料は旅行代金にふくまれません。 ※添乗員・ガイドは乗車いたしません。 ※道路事情により発着時間が変更になる場合がございます。 ※山道を歩きますので当日は歩きやすい靴でご参加ください。

御取納丁銀

石見銀山遺跡

石見銀山遺跡は、島根県のほぼ真ん中に位置する大田市大森町を中心とし、旧温泉津町、旧仁摩町を含めた現大田市の広い範囲に広がる遺跡です。遺跡の範囲は大きく3つに分けられ、「銀鉱山跡と鉱山町」「街道（石見銀山街道）」「港と港町」からなります。大航海時代の16世紀、世界で流通した銀のおよそ3分の1が日本の銀であり、さらにそのほとんどが石見銀山で産出されたものであったと言われます。その影響力の大きさを示すのが、当時ヨーロッパで作成された世界地図です。日本の中でも「石見銀山」は非常に大きく扱われており、その存在の大きさを表しています。石見銀山の特徴は、自然を破壊せず、環境に配慮した「自然環境と共存した産業遺跡」であることです。そしてこれが、世界遺産として評価された重要なポイントです。

龍源寺間歩

鉱山の坑道の事を「間歩（まぶ）」と呼びます。龍源寺間歩は1715年の開発で、他に永久・大久保・新切・新横相間歩とともに代官所の直営で「五か山」と呼ばれていました。龍源寺間歩は中に入って見学する事ができ、内部はノミで掘った跡が当時のままの状態で残っています。また、古文書の石見銀山絵巻が電照板で展示してあり、当時の坑内の様子を知る事ができます。

大森の街並み

大田市大森町は石見銀山領の中心となった地です。地元の人の手により、当時の面影をそのままに残しています。代官所跡や古寺・古社など歴史的な建物だけでなく、街の景観に合わせたレトロな郵便局や銀行、自動販売機などにも注目です！

※前日19:00までに出雲空港トラベルカウンターへお申込み下さい

ご予約・お問い合せ　（0853）72－3200

□□□